

温室メロン 病害虫対策フローチャート（特にミナミキイロアザミウマ・タバココナジラミ）

栽培終了後や次作開始前には、以下に注意して、管理作業を行ってください。

前作、「ミナミキイロアザミウマ」や「黄化えそ病」、または、
「タバココナジラミ」や「退緑黄化病」が発生していた。

はい → Aへ

いいえ → Bへ

A 栽培終了後の根絶スケジュール

★：抜根して枯死させる代わりに、根付きのまま、「キルパー（殺虫剤 8F）」を土壌散布する方法もあります。（栽培後の古株枯死と、病害虫蔓延対策の効果が期待されます。）

時期	作業	期待される効果
① 栽培終了時	・ 作物を抜根する・・・★ ・ 室内の雑草を除草する	吸汁できる植物を除去することで、害虫を死滅させる。
② 植物が枯死するまで	・ 温室を密閉して蒸し込む。	害虫の往来を遮断し、室内の害虫を死滅させる。 【注】 室内の植物体は、枯死しきっていないものを、室外へ放置してしまうと、病原体の拡散源となってしまいます。
③ 作物が枯死・乾燥したら	「ミナミキイロアザミウマ」や「黄化えそ病」の心配がない場合 → Bへ 「ミナミキイロアザミウマ」や「黄化えそ病」対策も行う場合 → 続けて④⑤	
④ 作物が枯死・乾燥したら	・ 粘着トラップの設置（3～5枚/棟） （ミナミキイロアザミウマ：緑） （その他アザミウマ類：青） （コナジラミやハモグリバエ：黄）	害虫が死滅したことを確認。
⑤ 害虫が誘殺されなくなったら	・ 枯死した植物残渣を室外へ搬出して処分する。	【注】 粘着トラップに害虫が誘殺される間は、新たに誘殺されなくなるまで、粘着トラップを更新しながら確認を継続する。

（Aが終わったら） ↓ Bへ

B 病害虫を発生させないための準備・対策

- ・ 随時、温室周辺の除草管理に努める。
- ・ 温室開口部に、防虫ネットを設置する（推奨は 0.4mm 目合い）。
- ・ 温室周辺で、病原を媒介する害虫が寄生する植物を栽培しない。（花壇や家庭菜園も要注意です。）
- ・ 育苗は専用温室で行う。（育苗中の感染は、その後の、被害拡大の要因となります。）
- ・ 定植前の薬剤灌注や粒剤処理は、定植 2 日前に行う（薬剤の浸透のため）。